

自分の「やりたい!」を思う存分探求しよう。

奥村 巴菜 | OKUMURA Hana
陶芸家 (2013年 陶 修了)

女子美の工芸を選択した理由を教えてください。
小さな頃から美術館で工芸作品を見たり、工芸に関する本を読んだりして、工芸に興味がありました。
学生生活なかのターニングポイントを教えてください。
大学2年生の時、初めてギャラリーを借りて友人と2人展しました。そこで日本や海外の方に作品が売れたことが作家を目指すきっかけになりました。人生で初めて作品を人に買ってもらえた時の気持ちは思いうつとドキキします。

また、在学中にコンペに色々挑戦し賞を頂いた経験も大きなきっかけになりました。
女子美で学んだことは、どのように活きていますか？
最低限のマナーをしっかりと学びたいと思います。具体的には、提出締め切りを守ること、報道連絡をちゃんとすること、その他色々な規範があったことなど。
私はフリーランスの作家なので、作品を作るだけではなく直接ギャラリーの方やお客様とやり取りをするのですが、細かな連絡や対応の仕方は女子美時代に鍛えられた気がします。

卒業後に苦労したことと、現在に至る道のりについて、もしよければ教えてください。
制作が続ける場所や環境を整えるのがかなり大変で、気力だけでどうにもならない面がありました。
最初から作品がポンポン売れることはなかなかなく、家族や周りの協力なしでは続けられませんでした。自立したいのに次第に長々と暮らしていた時間は半人前

な気がしてとてももどかしかったです。
今後の展望について教えてください。
今のままに海外の方から直接ご連絡をいただいて作品を購入して下さることあるのについて海外でも展示をしてみたいなと思っています。
後輩に、作家としてやっていくためのアドバイスをお願いします。
とにかく諦めないで作品を作り続けることが大事だと思います。あと、大学時代に人脈をたくさん作っておくこともとても重要です。『女子美術大学で私はこういうことをやっています、お話を聞かせてください』と他の機関に乗り込んでいけるのは学生のうちの特権です。私は寒鰐他大学の昆虫学者さん、海外に住む学者さんと会ったり話したりたくさんしました。今もこの繋がりはすごく大切です。)

これから女子美を愛護しようとしている人たちにぜひメッセージがありまらなをお願いします。
女子美は自分が「やりたい!」と思えばいくらでも存分にやれる場所です。それだけの環境が揃っています。遠慮や自信のなさみたいなものは遠くへ放り投げて女子美を思い切り楽しんでもいいです。
その他、何かありましたら教えてください。
女子美で学べてよかったです。良い先生方に恵まれて大変感謝しています！



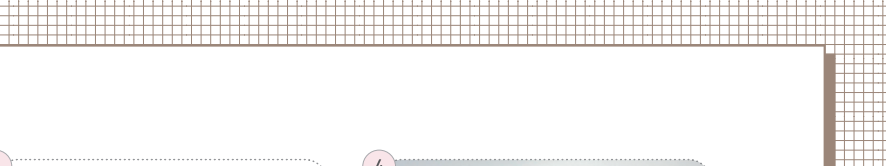
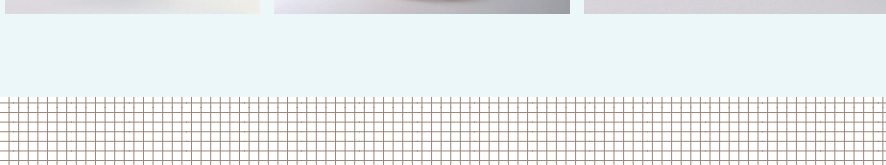
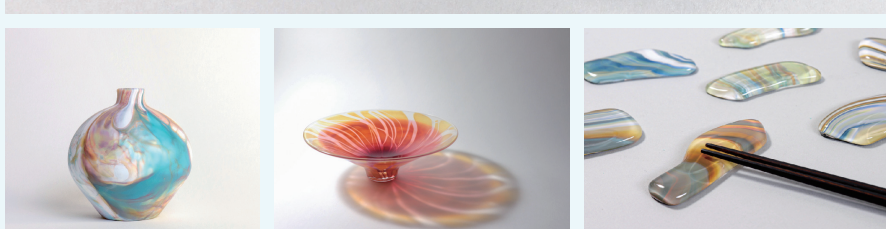
文化に貢献し工芸という業を伝え残していきたい

飯田 桜子 | IIDA Sakurako
吹きガラス作家 (2014年 ガラス 卒業)

作家活動のきっかけと、作家として活動してみている感想を教えてください。
大学卒業後吹きガラス工房で働ながら夢中で練習するにつれ、教わったものをワットアップしていきたくて思うようになりました。出会った人達に感化され自分も作家の道に踏み込み、活動を始めてみる目になりましたが、毎回学ぶことはあります。会場が変わることに客層やニーズ、作品の運び方、見せ方も変わり、時間をかけてその最善を見つけていくことが大事だと実感しています。吹きガラスは制作コストがかかるため、価格の付け方や制作の効率化と考えるとはいけないことも多く、試行錯誤の毎日です。

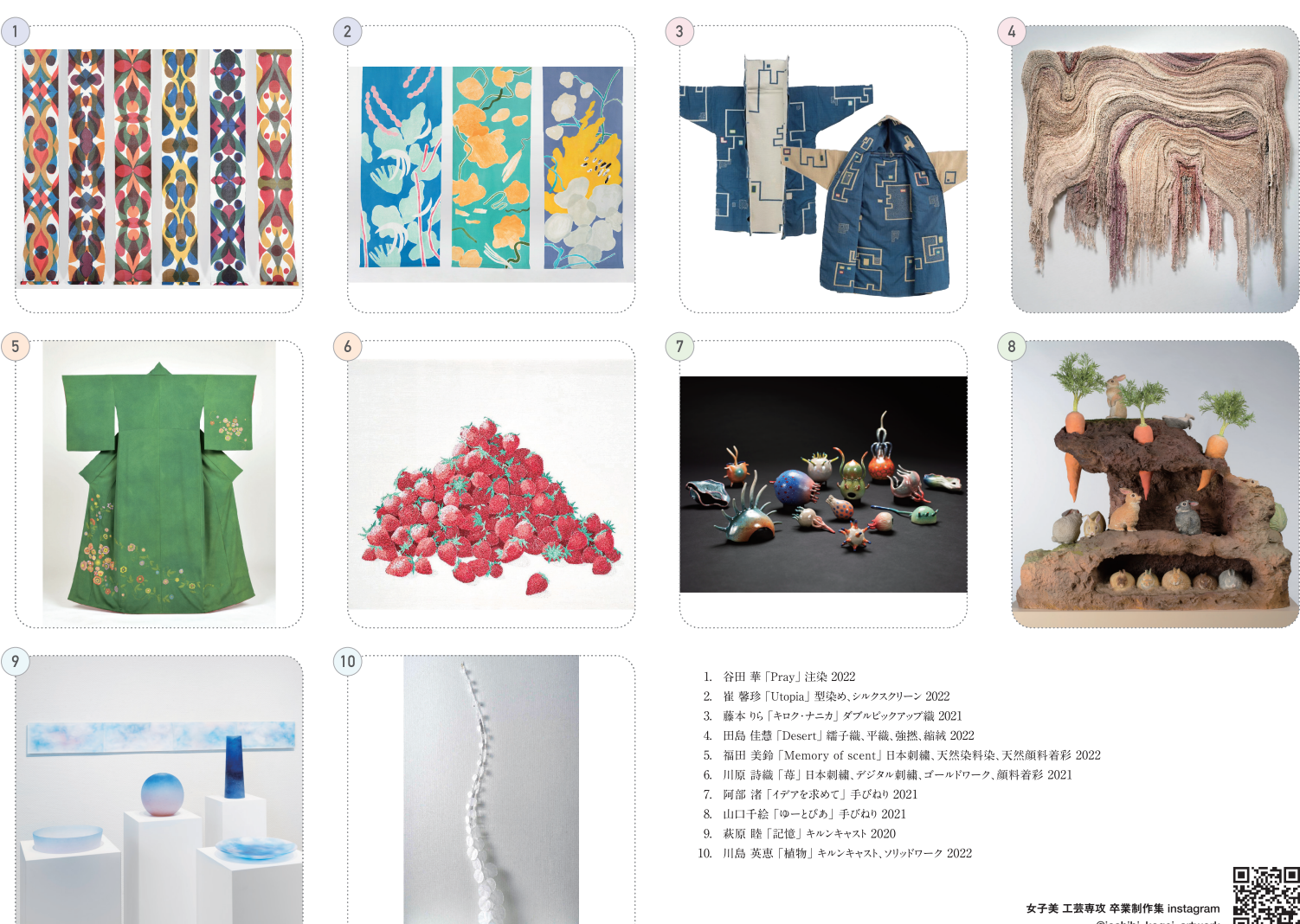
実際に取り組まれたお仕事と現在の主な活動内容を教えてください。
ギャラリーや百貨店の発表をベースに、個展とグループ展を年に数回行っています。注文制の仕事もあり、新たな観点でガラスと対峙することができる貴重な機会です。また吹きガラスの制作アシスタントの仕事もしています。色々な方の制作に関わることができ、学びも多くやりがいのある仕事です。海外のアートストーンレジデンスというプログラムにも参加しています。

工芸専攻を選択し、に至った経緯を教えてください。
ガラスを選んで工芸に出会いました。ガラスに興味を持ったきっかけは、高校一年生の時に教育実習の先生がクラスメイト全員にプレゼントしてくれたフーリングのガラスヒースが素敵だったことでした。小さなカケラの中に現れたガラスの多様な表現に驚き、ガラスを学びたいと思うようになりました。思えば幼い頃から人が作業をしているのを見るのが好きで、



工芸専攻 Navi

卒業制作



- 1. 谷田 華「Pray」注染 2022
- 2. 堀 修彦「Utopia」型染め、シボスクリーン 2022
- 3. 藤本 ちろ「ヒロク・ナニカ」ダブルビタアプ編 2021
- 4. 田島 佳穂「Desert」硝子織、平織、強撚、縮絨 2022
- 5. 福田 美鈴「Memory of scent」日本刺繍、天然染料染、天然顔料着彩 2022
- 6. 川原 詩織「香」日本刺繍、デジタル刺繍、ゴールドワーク、顔料着彩 2021
- 7. 阿部 清「イデアを求めて」手びねり 2021
- 8. 山口千絵「ゆーとびあ」手びねり 2021
- 9. 萩原 睦「記憶」キレンキャスト 2020
- 10. 川島 英恵「植物」キレンキャスト、ソリッドワーク 2022

女子美 工芸専攻 卒業制作集 Instagram
@joshibi_kogei_network



学びのプロセス



工芸専攻では確かな技術と知識を習得し、時代に即応した工芸作品を創造できる発想力・表現力を身につけます。デザインと技術の双方を学ぶことによって、手仕事の可能性を見極め、次世代の作家・デザイナーとして柔軟な思考で新しい創作を開拓できる人材を育成します。

※掲載されている学びのプロセスは、2024年度入学生より対象となります。

工芸専攻 website
<https://joshibi-crafts.net/>



女子美術大学 website
<https://www.joshibi.ac.jp/>

